

平成25年度 学校目標の内容について

は昨年度と区分が変わった学校

	内容区分	23年度 校数	24年度 校数	25年度 校数	25年度 学校名														
					城下	吹上	関南	柏崎	小中野	江陽	湊	白銀	白銀南	町畑	大久喜	金浜	江南	日計ヶ丘	是川
小学校	確かな学力・基礎学力	16	26	27															
	表現力・書く・話す・言語活動	20	9	9	下長	高館	根岸	桔梗野	轟木	多賀	多賀台	島守	中居林	根城	是川東	明治			
	学習・生活習慣	2	5	5	八戸	青潮	三条	西園	松館	鳩田	田代	旭ヶ丘	中野						
	学び合い	1	2	2	白鷗	美保野	種差	城北	田面木										
	立腰・体力	1	2	2	長者	白山台													
	思いやり・心の育成・あいさつ	3	2	2	鮫	新井田													
	主体性・意欲	4	0	0	豊崎	市野沢													

	内容区分	23年度 校数	24年度 校数	25年度 校数	25年度 学校名								
					北稜	大館	東	中沢	小中野	湊	南浜	鮫	明治
中学校	自主性・意欲	9	8	9	江陽	根城	市川	豊崎	島守	田代	白山台	三条	
	表現力・話す・言語活動	5	8	8	第三	白銀	是川	下長					
	確かな学力・基礎学力	5	3	4	白銀南	第一	第二						
	学習・生活習慣	0	3	3	長者								
	学び合い	1	1	1									
	心の育成・コミュニケーション	4	2	0									
	読書	1	1	0									
家庭学習	1	0	0										

平成25年度 学校目標

【小学校】

No.	学校名	学 校 目 標
1	八 戸	「考えを伝え合う力の育成を図る」
2	城 下	「基礎的基本的な学力の定着」（国語・社会・算数・理科）…児童が「わかったできた」と評価する授業割合を80%以上にする…
3	吹 上	「基礎学力の確実な定着を図る」「基本的生活習慣の育成を図る」
4	長 者	「自他の良さに気づき高め合う子の育成」
5	図 南	「学力を高めるための板書とノート指導の充実」
6	中 居 林	「基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させ、それらを土台にした思考力・判断力・表現力を身につけた児童の育成を図る。（各診断テスト等で、平均点75・偏差値55・全国比110以上を目指す）」
7	柏 崎	「基礎学力の確実な定着を図る」
8	小 中 野	「基礎・基本の確実な定着及び基本的生活習慣の育成を図る」
9	江 陽	「国語・算数の基礎基本の確実な定着を図る」
10	湊	「基礎学力の確実な定着～楽しく、わかる授業作りを通して～」
11	青 潮	「書く力の育成を図る～まねて書く・くわしく書く・まとめて書く～」
12	白 銀	「国語の学力向上を図る」
13	白 鷗	「共に学び、生活する子の育成」
14	白 銀 南	「基礎学力の定着」
15	町 畑	「国語・算数の基礎・基本の確実な定着を図る」
16	美 保 野	「学び方を身に付け、自分から取り組む子どもの育成」
17	鮫	「体力向上－『走る・跳ぶ・投げる』で全国平均を上回る－ （合わせて、この取り組みによって肥満傾向児童を10%以下にする。）
18	種 差	「学び方を身につけ、自ら学習する子どもの育成」
19	大 久 喜	「課題を把握させ、解決する活動を通して、意欲を高め、基礎学力の確かな定着を図る」
20	金 浜	「児童の読み取る力を伸ばす」
21	根 城	「基礎的・基本的な学力の定着」
22	白 山 台	「『ともに高め合うこと』を意識して行動する態度の育成を図る」
23	江 南	「関心・意欲、思考力、判断力、表現力等、機能的学力の向上」
24	田 面 木	「学習規律の確立」
25	下 長	「確かな学力の育成を図る」
26	城 北	「家庭学習の充実」
27	高 館	学びの基礎をはぐくむために「基礎・基本の確実な定着を図る」「学習習慣の確立を図る」
28	根 岸	「基礎学力の向上」
29	日計ヶ丘	「基礎基本の確実な定着」
30	是 川	「基礎・基本の確実な定着を図る－文章題を図で整理する力を育てる－」
31	是 川 東	「基礎学力の定着を図る」
32	三 条	「読み取る力を高める～言語活動の工夫～」
33	西 園	「説明文の授業の中で、小集団で考えを交流し、相手に伝わるように発表したり書いたりする子どもを育成する」
34	明 治	「算数の学力向上を図る」
35	桔 梗 野	「基礎的・基本的内容の確かな定着」

36	轟 木	「表現力や応用力のさらなる向上を目指し、主体的に課題を解決していく力の育成に取り組む。(各診断テスト等で偏差値57、全国比110以上を目指す)」
37	多 賀	「基礎・基本の確実な定着を図る」
38	多 賀 台	「基礎・基本の確実な定着(国語)を図る」
39	豊 崎	「ふるさと『豊崎』を誇りに思う子」
40	新 井 田	「進んで高めようとする子の育成」
41	松 館	「多様な体験を通して豊かな心を育み、進んで自分らしく表現する子に育てる」「児童一人一人の基礎学力を高め、進んで自分らしく学習する子に育てる」
42	旭ヶ丘	「筋道を立てて考え、場に応じた表現ができる児童の育成」
43	市 野 沢	「明るいあいさつ・確かな返事」
44	中 野	「豊かに読む力の育成を図る」
45	鳩 田	「表現力の育成」～おりあいをつけながら、自分の考えをまっすぐに伝える力の育成に努める～
46	島 守	「基本・基本の定着を図る」
47	田 代	「的確な理解のもと、自分の考えを適切に表現できる児童生徒の育成」

【中学校】

1	第 一	「時と場に応じたあいさつと返事ができる生徒の育成」
2	第 二	「主体的に学習に取り組む生徒の育成」「自分のよさを集団の中で積極的に生かす生徒の育成」
3	第 三	「基礎学力の確実な定着～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」
4	長 者	「聴き合い、学び合う中で、意欲的に学ぶ生徒の育成」
5	小 中 野	「夢に向かって志をもち、自分を鍛える生徒の育成」
6	江 陽	「自分の思いや考えを表現できる生徒の育成」
7	湊	「自らの進路を見つけ、それに向かって努力する生徒の育成」
8	白 銀	「確実に基礎学力を定着させ、自学自習できる生徒を育成する」
9	白 銀 南	「良好な人間関係を築き、集団の中で自分の良さを発揮するしなやかな生徒の育成」「苦しさ立ち向かい、自ら道を切り拓くたくましい生徒の育成」
10	鮫	「自己を磨き、他を認め、自主的に活動する中学生を育てる」
11	南 浜	「目標を持ち、自らを高める生徒の育成」
12	根 城	「自分の考えを積極的に表現できる生徒の育成」
13	白 山 台	「自分の思いや意見を発言できる生徒の育成」
14	下 長	「基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた生徒の育成」
15	北 稜	「課題対応能力の向上」
16	是 川	「授業の充実を図り、学力の向上をめざす」
17	三 条	「学びの中で、自分の意見を伝えることのできる生徒の育成」
18	明 治	「将来の展望を持ち、何事にも意欲を持って取り組む生徒の育成」～キャリア教育の視点に立った取り組みを通して～
19	市 川	「文武両輪の取組により、自分の考えを相手に正確に伝えられる生徒の育成」
20	豊 崎	「人とかわり、堂々と自分を表現できる生徒」
21	大 館	「主体的、意欲的に学習に取り組む生徒の育成」「心身ともに、力のある生徒の育成」
22	東	「自ら学ぼうとする意識と実践力の育成を図る」「自らより善い集団づくりに努めようとする意識と実践力の育成を図る」
23	中 沢	「生徒が意欲的に学習に取り組む姿を目指した授業の改善」
24	島 守	「自分の思いや考えを豊かに表現できる生徒」
25	田 代	「的確な理解のもと、自分の考えを適切に表現できる児童生徒の育成」

小中野公民館防災拠点施設整備事業について

1. 小中野公民館防災拠点施設整備事業の経緯

小中野公民館及び隣接する小中野コミュニティセンターを、東日本大震災復興交付金を活用し、従前の社会教育施設としての機能に、地震災害等による停電時にも避難所機能を維持し、また最新の津波シミュレーションに基づく想定最大浸水深5.0mの津波にも対応可能な津波一時避難施設としての機能も加えた、防災拠点施設として現在地に改築整備する。

2. 整備事業の概要

(1) 建設地

所在地・・・八戸市小中野五丁目2-17（現在地）

敷地面積・・・1,989.20 m²

(2) 構造及び規模

鉄筋コンクリート造3階建 1,977.575 m²（建築基準法 延床面積）

(3) 主な設置室・設備名

1階・・・玄関ホール、駐車場（13台）

2階・・・事務室、会議室、小ホール、調理室、和室、トイレ（多目的あり）

3階・・・大ホール、用具庫、備蓄倉庫、トイレ

屋上・・・避難スペース、非常用自家発電機室（発電機室上屋も避難スペース）

その他・・・エレベーター（1階から3階まで）、

非常階段（1階から3階まで及び1階から屋上へ直通を各1箇所ずつ）

3. 工事種別

(1) 工事内容

小中野公民館防災拠点施設整備事業 本棟工事（昇降機設備含む。6月議会議案提出予定。）

同 電気設備工事、同 機械設備工事

(2) 完成予定

平成26年5月末を予定。（平成25・26年度継続事業）

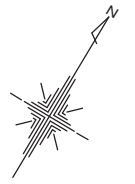
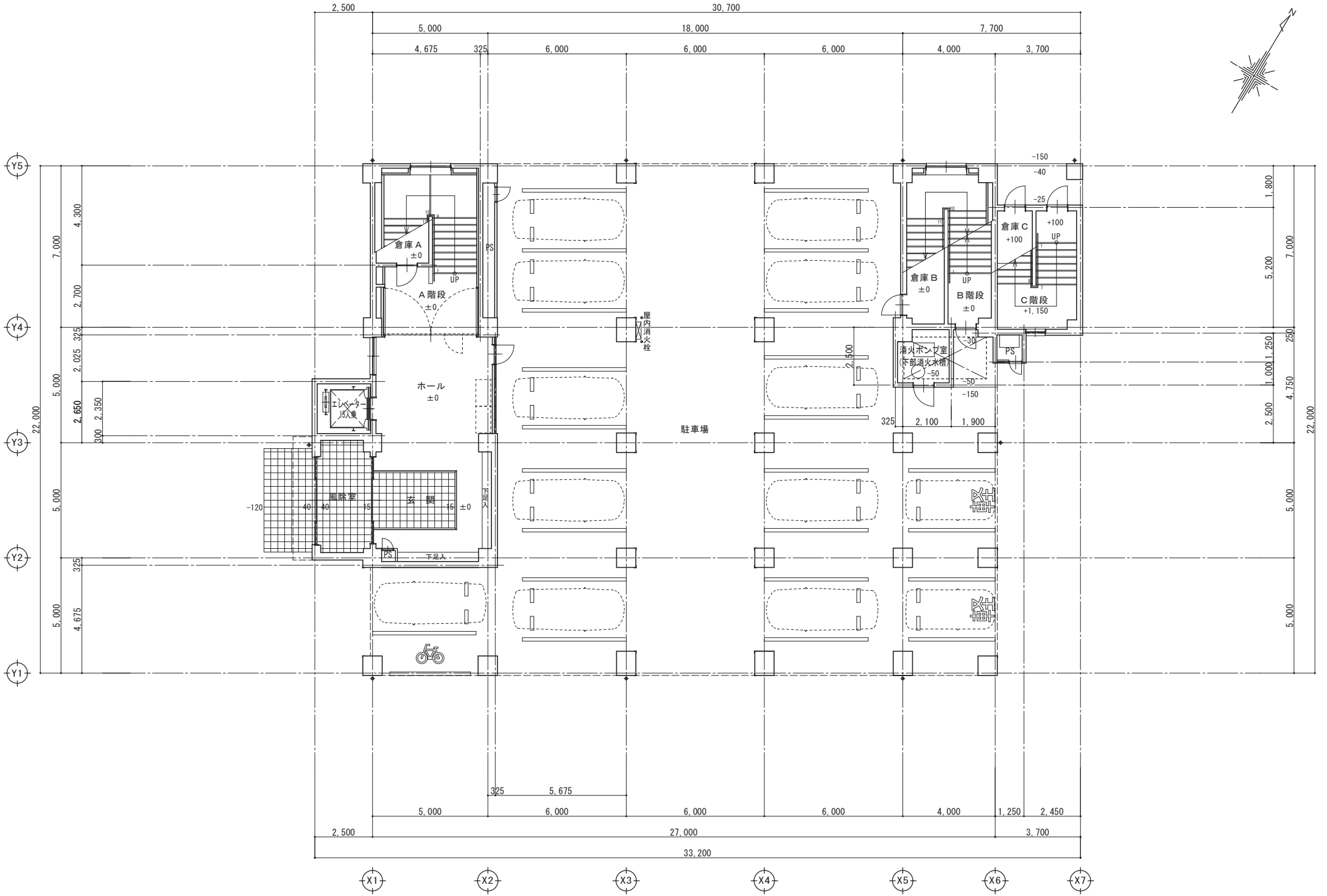
4. 防災拠点施設整備期間における公民館活動について

4月1日より、隣接する小中野小学校西校舎1階の普通教室3部屋を借用し、座学を中心とした講座を開設している。なお、開館時間は9:00から16:30の時間とし、学校行事等で休校となる場合は、休館日となる。

また、同公民館で活動している自主クラブについては、近隣の公民館を借用して活動している。



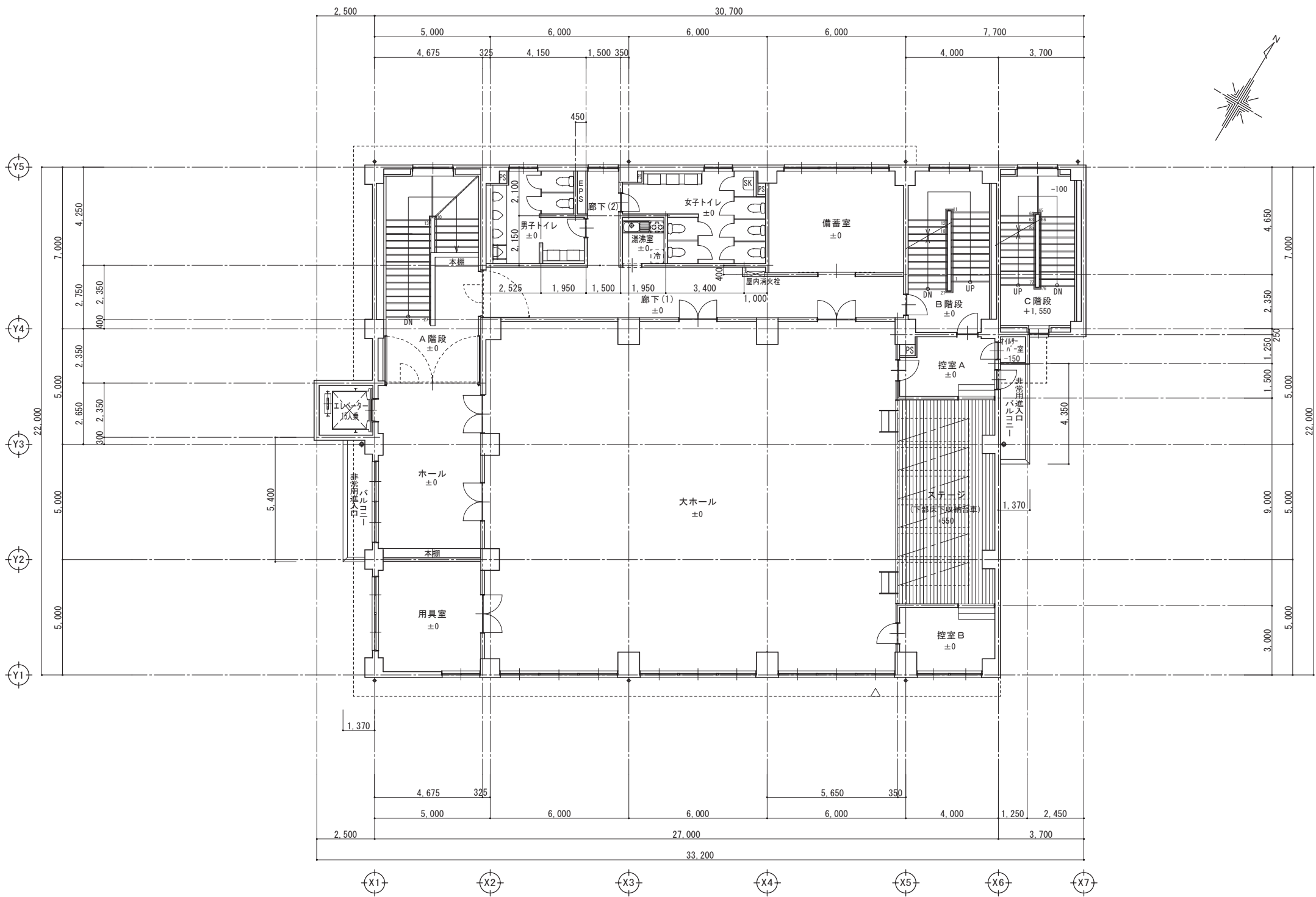
このパース図は暫定的なものであり、デザイン・色彩等については、地元と協議の上決定されます。



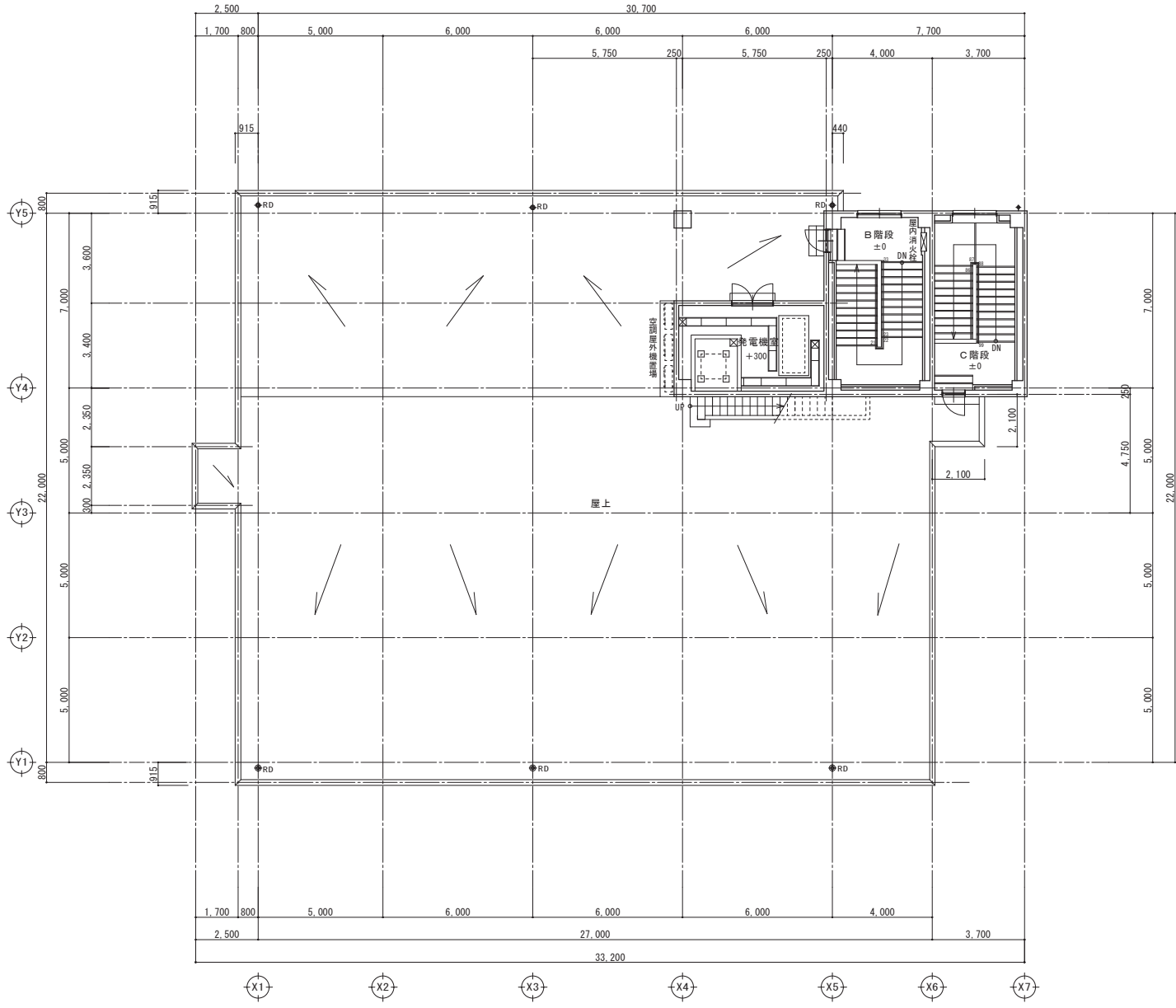
1階平面図 S=1/200



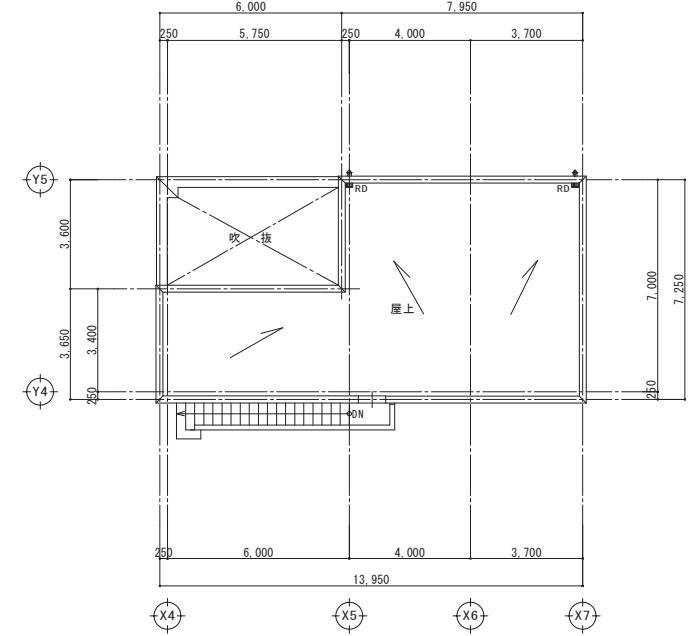
2階平面図 S=1/200



3階平面図 S=1/200



PH階平面図 S=1/250



PH階屋根伏図 S=1/250

平成 25 年度八戸市史講座の開催について

『新編八戸市史 通史編Ⅱ 近世』の発刊を記念するとともに、市史編纂事業の成果を広く市民に周知するため、市史講座を開催します。今年度は、近世編として『通史編Ⅱ』の執筆者を講師に迎え、藩政時代の様々なテーマについて、新たな視点も交えながら解説していきます。

回	月 日	演 題 (仮)	講師肩書	講 師
1	6月15日(土)	八戸藩の鉄山とたたら製鉄	市史編纂室嘱託員	さいとう 藤 潔 きよし
2	7月20日(土)	近世八戸を襲った飢饉と災害	八戸歴史研究会会員	ななきき 七崎 修 おきむ
3	8月17日(土)	幕末の動乱と八戸藩	青森県立郷土館 研究主幹	ほんだ 本 伸 しん
4	9月14日(土)	八戸藩の参勤交代と 幕府への勤め	学習院女子大学教授	いわぶち 岩淵 令治 れいじ
5	10月19日(土)	八戸藩の海運と交易	秋田大学教授	わたなべ 渡辺 英夫 ひでお
6	11月17日(日)	藩政改革と百姓一揆	青森県環境政策課 主幹	なかのわたり 中野 渡 一耕 かずやす
7	12月14日(土)	農山村の生業と環境 —大豆と馬を中心に—	宮城学院女子大学 教授	きくち 菊池 勇夫 いさお
8	1月19日(日)	八戸藩の宗教	市史編纂室長	ふじた 藤田 俊雄 としお
9	2月15日(土)	八戸藩の成立と初期の藩政	八戸工大二高教諭	くまがい 熊谷 隆次 りゅうじ
10	3月15日(土)	八戸の風土が生んだ安藤昌益	八戸歴史研究会会長	みうら 三浦 忠司 ただし

- ・場所は図書館2階集会室。
- ・時間は10時から12時まで。ただし、9月・10月・12月は13時30分から15時30分まで。